

灯ろう流し 岡崎市島坂保育園(愛知県岡崎市)

島坂町のかのりクラブの方々を中心となり、地域の「灯ろう流し」が昨年より開催された。地域の中央を流れる鹿乗川は危険な所、汚い所というイメージがあり、園児たちを近寄せないでいたが、美しい川にしたいということと、地域の様々な年代の人たちが誰でも楽しめる、参加できる場にしたいという声があがってきた。そこで、島坂保育園の子が主役になり、主体的に参加する「灯ろう流し」が計画された。

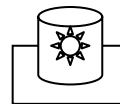
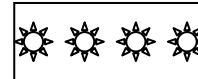
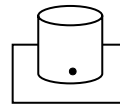
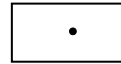


1 灯ろう作り (昨年は100個だったが、今回は200個作成した)

主体的に参加して楽しめるように「自分たちで作った灯ろう」を流せるようにする。

<作り方>

- 地域の方が、近くの工場からいただいた木片をカットして(10cm×10cm×4cm)、中央に電気ドリルで穴を開ける。
- 保育園で回収したペットボトル(2ℓ)を半分に切って、底の中央に穴を開ける。(保育園)
- 小学生が木片の裏の穴に太い釘を打つ。
- 近くの工場からいただいた不織布を縦18cm横36cmに裁ち、クレヨンや油性マジック等で絵を描く。(小学生、地域の方、保育園)
- 絵を描いた不織布をペットボトルに巻き、両面テープで止める。(保育園)
*ホッチキスの針など川を汚すものは使用しない
- 釘の所にろうそく(1時間くらいもつもの)をさす。



地域の方の感想

- 保育園が参加したことで地域が元気になった。
- 家族そろって見たり帰省客も楽しめたりした。
- 草刈やゴミ拾いもでき、鹿乗川がきれいになった。
- ろうそくの灯りは美しく身近な所で見られてよかった。

2 鹿乗川にて(地域主催) 灯ろう流しをみる 8/15(火) 19:00~

水位が前日よりかなり下がって(お盆で近くの大きな工場が休みの為)、渡し場の高さ合わなくなった事と、風向きが逆風に変化し予想外の状況で始めた「灯ろう流し」。

初めは風に押し戻される灯ろうがあったが、地域の方のアイデアで円滑に流れていくようになった。ろうそくの火はペットボトルの中にある為消えにくく不織布を通して、水面に映り、ゆっくりゆっくりと流れていく風情は感動を呼んだ。

直接は流せなかったが、「きれいだね」「水がうごいているね」という声が聞かれた。



保護者の感想

- 散歩で見ている鹿乗川が子どもにより身近になったように思う。
- 浮く、流れるということに気付く機会になり、灯ろうの灯りが水に映り、ゆっくりゆっくり流れるところを見て「美しい、きれい」と感動することができよい経験になった。
- 地域の人たちが、協力し合って行われている姿を見て、また感動した。

みどころ

地域の大人たちが協力して地域のために考えた「地域のイベント」に、地域から「園児の主役の活動にしたい」という思いが出されて、保育園の子どもたちも参加し、感動体験をした事例です。「子どもたちも主体的に参加できるように」という意図で、①幼児にも作り方が分かり協力できるような手作りの灯ろうを作成したこと ②地域の工場の素材提供、地域の方や小学生の作業、そして園児の活動があること ③園児が家族や地域の方と、灯ろう流しという美しく幻想的な感動体験を味わったことで、園児も地域社会の一員という思いをもつことができ、「美しい」「灯ろう流しができてよかった」という感動的な心情をみんなで共感するという体験ができました。